

平成 26 年 4 月 1 日

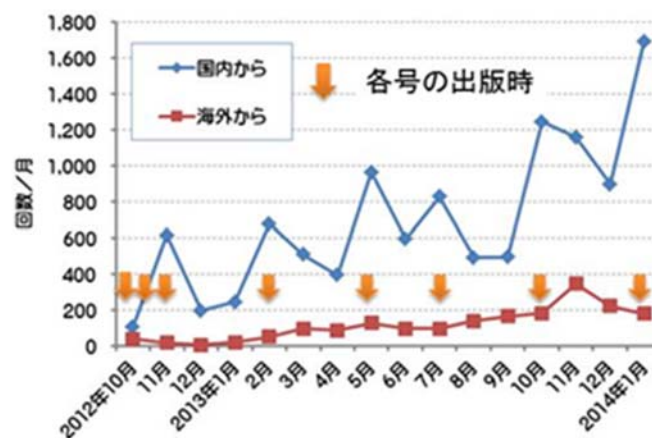
日本造血細胞移植学会  
会員の皆様

日本造血細胞移植学会  
編集委員会 委員長 赤塚 美樹  
理事長 岡本 真一郎

日本造血細胞移植学会雑誌への投稿のお願い

会員の皆様におかれましては平素より学会誌の発展にご協力を賜り有難うございます。

第 36 回日本造血細胞移植学会へご参加の方はお気づきかと思いますが、編集委員会では学会総会時に編集委員会のブースを設け、本誌掲載論文の毎月のダウンロード数（添付図）や「最も読まれた論文ランキング」を掲載しました。特に第 3 巻第 1 号発刊時の平成 26 年 1 月は 2 週間で 1700 ダウンロードを超えました。



このように発刊毎に論文の閲覧・ダウンロードは着実に増加しており、編集委員会としても嬉しく思っております。これには平成 25 年度に「医中誌 Web」や「メディカルオンライン」からもアクセスが可能となったことも関係していると考えています。

しかし一方で、投稿数についてはまだまだ不十分な状況です。もっと積極的に会員の皆様から論文の投稿を頂くことが不可欠と編集委員会では考えています。そこでお願いですが、第 36 回日本造血細胞移植学会総会で発表された優れた研究や興味深い症例報告を論文として本学会誌に投稿し、世界に発信して頂ければ幸いです。論文の価値がインパクトフ

アクタ（IF）で評価されることが多いですが、IF をまだ取得していない日本造血細胞移植学会雑誌も J-STAGE やリンクする CrossRef に参加しておりますので、全世界で閲覧は可能です。

投稿頂いた全ての投稿をすべて受理することはできないかもしれませんが、編集委員会や査読者は、投稿された論文に対して、受理に必要なアドバイスを丁寧かつ好意的に行うことを編集方針としております。これから論文を書こうと思っている若い会員の皆さんは、論文作成を学ぶ良い機会でもあると考えます。まず手始めに本誌へのご投稿をご検討下さい。もちろん日本語でも結構です。

投稿に際しては投稿規程 ([http://www.jshct.com/organization/journal/touko\\_kitei.shtml](http://www.jshct.com/organization/journal/touko_kitei.shtml)) を良くご覧頂き、また日本造血細胞移植学会雑誌の過去の掲載論文をご参照のうえ、ご執筆下さい。投稿規程に沿わない論文は査読に回すことが出来ませんので、この点にご留意下さい。また、不明点は日本造血細胞移植学会事務局編集委員会担当者 ([jshct\\_office@jshct.com](mailto:jshct_office@jshct.com)) までお気軽にお尋ね下さい。

たくさんのご投稿をお待ちしております。